

第 1 回徳島市水道ビジョン 2 0 1 9 策定市民会議資料等の修正について

目 次

	頁
1 資料 6 現行ビジョンの概要と進捗評価	1
2 参考資料 7 平成 2 8 年度水道事業ガイドライン業務指標試算結果	2
3 第 1 回徳島市水道ビジョン 2 0 1 9 策定市民会議議事録	4

平成 30 年 5 月 11 日

徳 島 市 水 道 局

1 資料6 現行ビジョンの概要と進捗評価

6 ページ「2.2 安定（地震対策等の拡充）」―「2.2.3 バックアップ能力の確保」―「(2) 管路のバックアップ能力の確保」の取組状況の内容を次のとおり修正いたします。

修正後	<table border="1"> <thead> <tr> <th style="background-color: #d9e1f2;">取組状況</th> <th style="background-color: #f2d9d9;">評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <p>◇耐震管ループ内の耐震化及び配水場<u>バックアップ</u>管路の耐震化</p> <p>※ 進捗率 耐震管ループ内の耐震化…80% 配水場<u>バックアップ</u>管路の耐震化…70%</p> </td> <td>送水管の2系統化については、系統別ブロック化及び水需要を考慮し、再検討</td> </tr> </tbody> </table>	取組状況	評価	<p>◇耐震管ループ内の耐震化及び配水場<u>バックアップ</u>管路の耐震化</p> <p>※ 進捗率 耐震管ループ内の耐震化…80% 配水場<u>バックアップ</u>管路の耐震化…70%</p>	送水管の2系統化については、系統別ブロック化及び水需要を考慮し、再検討
	取組状況	評価			
<p>◇耐震管ループ内の耐震化及び配水場<u>バックアップ</u>管路の耐震化</p> <p>※ 進捗率 耐震管ループ内の耐震化…80% 配水場<u>バックアップ</u>管路の耐震化…70%</p>	送水管の2系統化については、系統別ブロック化及び水需要を考慮し、再検討				
修正前	<table border="1"> <thead> <tr> <th style="background-color: #d9e1f2;">取組状況</th> <th style="background-color: #f2d9d9;">評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <p>◇耐震管ループ内の耐震化及び配水場<u>相互連絡</u>管の耐震化</p> <p>※ 進捗率 耐震管ループ内の耐震化…80% 配水場<u>相互連絡</u>管耐震化…70%</p> </td> <td>送水管の2系統化については、系統別ブロック化及び水需要を考慮し、再検討</td> </tr> </tbody> </table>	取組状況	評価	<p>◇耐震管ループ内の耐震化及び配水場<u>相互連絡</u>管の耐震化</p> <p>※ 進捗率 耐震管ループ内の耐震化…80% 配水場<u>相互連絡</u>管耐震化…70%</p>	送水管の2系統化については、系統別ブロック化及び水需要を考慮し、再検討
	取組状況	評価			
<p>◇耐震管ループ内の耐震化及び配水場<u>相互連絡</u>管の耐震化</p> <p>※ 進捗率 耐震管ループ内の耐震化…80% 配水場<u>相互連絡</u>管耐震化…70%</p>	送水管の2系統化については、系統別ブロック化及び水需要を考慮し、再検討				

2 参考資料7 平成28年度水道事業ガイドライン業務指標試算結果

3 ページ「B) 安定した水の供給」―「運転管理」―「1) 施設管理」―「B117 施設点検実施率」の平成27年度及び平成28年度の値を次のとおり修正いたします。

修正後	番号	業務指標名及び定義	優位性	H26	H27	H28	解説
	B117 (5110)	設備点検実施率[%] (点検機器数/機械・電気・計装機器の合計数)×100	↑	/	<u>34.7</u>	<u>43.7</u>	機械・電気・計装機器の合計数に対する点検機器数の割合を示すもので、設備の健全性確保に対する点検割合を表す。数年に一度の頻度で実施する機器もあるため、指標値は100%にならない場合がある。

修正前	番号	業務指標名及び定義	優位性	H26	H27	H28	解説
	B117 (5110)	設備点検実施率[%] (点検機器数/機械・電気・計装機器の合計数)×100	↑	/	<u>4.6</u>	<u>20.6</u>	機械・電気・計装機器の合計数に対する点検機器数の割合を示すもので、設備の健全性確保に対する点検割合を表す。数年に一度の頻度で実施する機器もあるため、指標値は100%にならない場合がある。

5 ページ「B) 安定した水の供給」―「施設整備」―「6) 事故災害対策」―「B602-2 浄水施設の主要構造物耐震化率」の平成27年度及び平成28年度の値を次のとおり修正いたします。

修正後	番号	業務指標名及び定義	優位性	H26	H27	H28	解説
	B602-2 (新規)	浄水施設の主要構造物耐震化率[%] [(耐震対策の施された沈でん池の浄水施設能力+耐震対策の施されたる過池の浄水施設能力 ^{※1})/2+耐震対策の施されたる過池の浄水施設能力 ^{※2}]/(全浄水施設能力-消毒のみ施設の浄水施設能力)×100 ※1 沈でん・ろ過を有する施設の耐震化浄水施設能力 ※2 ろ過のみ施設の耐震化浄水施設能力	↑	(新規)	<u>33.3</u>	<u>33.3</u>	浄水施設のうち主要構造物である、沈でん池及びろ過池に対する耐震対策が施されている割合を示すもので、B602(浄水施設の耐震化率)の進捗を表す。値は高いほうがよい。

修正前	番号	業務指標名及び定義	優位性	H26	H27	H28	解説
	B602-2 (新規)	浄水施設の主要構造物耐震化率[%] [(耐震対策の施された沈でん池の浄水施設能力+耐震対策の施されたる過池の浄水施設能力 ^{※1})/2+耐震対策の施されたる過池の浄水施設能力 ^{※2}]/(全浄水施設能力-消毒のみ施設の浄水施設能力)×100 ※1 沈でん・ろ過を有する施設の耐震化浄水施設能力 ※2 ろ過のみ施設の耐震化浄水施設能力	↑	(新規)	<u>46.8</u>	<u>46.8</u>	浄水施設のうち主要構造物である、沈でん池及びろ過池に対する耐震対策が施されている割合を示すもので、B602(浄水施設の耐震化率)の進捗を表す。値は高いほうがよい。

6 ページ「B) 安定した水の供給」―「施設整備」―「6) 事故災害対策」―「B611 応急給水施設密度」の平成 26 年度～平成 28 年度の値を次のとおり修正いたします。

修正後	番号	業務指標名及び定義	優位性	H26	H27	H28	解説
	B611 (2205)	応急給水施設密度[箇所/100k㎡] 応急給水施設数/(現在給水面積/100)	↑	<u>3.9</u>	<u>4.7</u>	<u>4.7</u>	100k㎡当たりの応急給水施設数を示すもので、震災時などにおける飲料水の確保のしやすさを表す。応急給水施設の整備などに当たっては、密度だけでなく距離についても十分な検討が必要である。
修正前	番号	業務指標名及び定義	優位性	H26	H27	H28	解説
	B611 (2205)	応急給水施設密度[箇所/100k㎡] 応急給水施設数/(現在給水面積/100)	↑	<u>13.3</u>	<u>16.1</u>	<u>16.1</u>	100k㎡当たりの応急給水施設数を示すもので、震災時などにおける飲料水の確保のしやすさを表す。応急給水施設の整備などに当たっては、密度だけでなく距離についても十分な検討が必要である。

3 第1回徳島市水道ビジョン2019策定市民会議議事録

2ページのA委員からの御意見に対する水道局の回答を次のとおり修正いたします。

修正後	<p>A 委員</p> <p>最大震度6の地震が発生した場合の被害はどの程度を予想しているのか。 ⇒震度6強での断水割合は<u>83.4%</u>、導・送・配水管の被害は2,435か所を想定している。 徳島市水道施設耐震化計画では、南海トラフ巨大地震の発生を想定した内容で記載しており、震度7の地震が発生した場合、給水人口の約93.1%が断水すると想定している。</p>
修正前	<p>A 委員</p> <p>最大震度6の地震が発生した場合の被害はどの程度を予想しているのか。 ⇒震度6強での断水割合は<u>84.4%</u>、導・送・配水管の被害は2,435か所を想定している。 徳島市水道施設耐震化計画では、南海トラフ巨大地震の発生を想定した内容で記載しており、震度7の地震が発生した場合、給水人口の約93.1%が断水すると想定している。</p>

